

アンケート調査について

1 アンケート調査の目的

現状分析の結果、本市には豊富な歴史・文化・自然資源がある一方で、観光資源の認知度向上、周遊性の向上、食・土産・体験コンテンツの充実、情報発信の強化などが課題として整理されました。

また、前回調査から約 10 年が経過し、新型コロナウイルス感染症の影響や旅行ニーズの多様化、SNS・デジタル媒体の普及など、本市を取り巻く観光環境は大きく変化しています。そのため、本アンケートでは、市民及び市外在住者の意識やニーズの変化を把握するとともに、第 3 次稲沢市観光基本計画において重点的に取り組む施策の検討に活用します。

2 アンケート調査方法

(1) 調査手法

Logo フォームによるオンラインアンケート（QR コードで回収）

(2) 回答方法

QR コードからアクセスし、スマートフォン等で回答

(3) 対象

市内在住者、市外在住者（来訪者含む）

(4) 調査内容

認知度や来訪状況、観光資源の評価、観光に対する意識、観光まちづくりへの関与意向等

(5) 周知方法

市 HP、SNS での周知

観光施設、イベント会場等での QR コード提示

関係団体等を通じた周知

国府宮駅等へ QR コード掲載

策定委員会委員の所属団体等を通じた周知

(6) 回収期間（予定）

約 1 ヶ月間を想定

(7) 回収目標数

400～500（予定）

なお、調査実施期間は令和 8 年 10 月～11 月頃を予定していますが、回答目標数に到達していない等、必要があれば事務局判断で延長して実施するものとします。

3 現状分析から見えた確認すべきポイント

現状分析結果	アンケートで確認したいこと
歴史・自然・植木などの地域資源が強み	現在も同様に魅力として認識されているか
国府宮はだか祭、祖父江のイチョウ以外の認知度が低い	各観光資源の認知度・関心度
食・土産・体験コンテンツが不足	必要とされるコンテンツ
情報発信が課題	情報収集手段・利用媒体
市民参加が十分ではない	観光まちづくりへの参加意向
歴史・武将や体験型観光への高まり	歴史・武将コンテンツや体験型観光に対する関心・ニーズ

4 基本的な考え方

前回調査との経年比較ができるよう、基本的な設問は継続して設定するとともに、この10年間の観光を取り巻く環境変化や、本市の新たな観光施策を踏まえ、必要な設問を追加します。

5 前回調査との比較

前回調査との経年比較を可能とするため、認知度や観光資源、観光まちづくりへの参加意向などの基本的な設問は継続します。一方、この約10年間で観光を取り巻く環境が大きく変化したことや、第3次観光基本計画の検討に必要な情報を把握するため、情報発信、体験型観光、周遊行動、観光の課題、今後重点的に取り組む施策等に関する設問を新たに追加・拡充します。

区分	前回（H29）	今回（R8）	見直しの考え方
回答者属性	年齢、性別、居住地等	継続	属性別分析・経年比較を行うため継続
稲沢市の認知・イメージ	認知度、イメージ	継続	経年変化を把握するため継続
観光資源の認知・来訪状況	認知度、来訪経験	継続	観光資源の認知度・利用状況を比較するため継続
イベント	案内したいイベント等	一部更新	新たなイベントを追加し、現在のニーズを把握
食・土産	食べてほしいもの、買ってほしいもの	一部更新	新たな特産品や商品を反映
情報発信	観光情報の入手方法	拡充	SNS やデジタル媒体など現在の情報収集手段に対応
観光まちづくり	参加意向	継続	市民参加意識の変化を把握
歴史・武将や体験型観光	（設問なし）	新規	歴史資源や体験型観光のニーズを把握するため設問を拡充
重点施策	（設問なし）	新規	今後重点的に取り組む施策の優先順位を把握
自由記述	自由記述	継続	新たな課題や提案を把握

※なお、市民・市外居住者アンケートに加え、観光団体・観光事業者等に対する個別アンケートを実施し、現場の課題や今後の取組の方向性について把握する予定です。